

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)2018年4月
創立30年を
迎えま

石巻市内高校と連携

システム開発へ

高大産連携プロジェクト



石巻専修大学はPepper社会貢献プログラムに参加しています

二つのプロジェクトに取り組む佐々木研究室と石巻工業高校のメンバー



IT企業の方から話を聞く石巻市立桜坂高校の生徒と舛井ゼミ生

石巻専修大学は、地域を支える人材の育成と地域活性化を目指す「高大産(高校・大学・産業)連携プロジェクト」を2016年度から推進している。今年度は六つのプロジェクトを展開。うち五つはソフトバンクグループ

の「Pepper社会貢献プログラム」で、理工学部2研究室と経営学部の2ゼミ、石巻市内の3高校が参加(別表参照)。各プログラムの活動が本格化してきた。

理工学部の佐々木慶文研究室は、石巻工業高校と二つのプロジェクトに取り組む。一つは複数のPepperが連動して会話するシステムの開発、もう一つはPepperが復興や観光の情報を案内するシステムの開発だ。合同ミーティングでは佐々木研究室の学生が高校生たちとシステム開発に向けた意見交換を行った。同高は8月3、4日に仙台市の仙台国際センターで開かれる全国1。ハーフマラソン(女

子18歳以上)で原田詠麻さん(経営3・静岡県静岡北高)、10才(高校・一般女子49歳以下)で千葉悠里奈さん(人間3・宮城県常盤木学園高)、5才(同)で庄司琴美さん(経営2・宮城県聖和学園高)がそれぞれ1人。なかでも部員5人が出場した5才では各自が持ち味を發揮し、5位までを独占した。

ハーフマラソンの原田さんは2位に約9分差をつけ、1時間22分35秒でゴール。目標の18分台には届かなかったが「沿道の方や市民ランナーの温かい声援が力になった」と話した。

部員たちは北日本インカレでも快走。5000円で穴戸菜由さん(経営1・静岡県加藤学園高)、1万円で千葉悠里奈さん(人間3・青森県八戸学院光星高)がそれぞれ2位となった。

快走続く女子競走部

五つのPepper社会貢献プログラム

震災伝承プロジェクト	経営・経営学科 益満環教授	石巻商業高
まちなかホスタープロジェクト	経営・経営学科 舛井道晴准教授	石巻市立桜坂高
「まちの防災」を考えたPepperとデジタルマップを活用した地域復興プロジェクト	理工・機械工学科 高橋智准教授	石巻工業高
	理工・情報電子工学科 佐々木慶文准教授	石巻工業高
	理工・情報電子工学科 佐々木慶文准教授	石巻工業高

ソフトバンクグループ株式会社

主に技術面で支援する。経営学部の舛井道晴ゼミと石巻市立桜坂高校は、同高が昨年度取り組んだ「まちなかホスタープロジェクト」をPepperの活用で発展させようと意気込む。石巻の魅力を実践的にPRするにはどんな情報を発信したらいいのかアイデアを出し合い、第一歩として「石巻魚市場と海産物を紹介するアプリを作る」ことを決めた。舛井准教授とゼミ生が作成したPepperのプログラムミ

石巻専修大学は、学生の大学4年間における学習姿勢に影響を与える初年度教育を重視している。1年次の基本教育科目「フレッシュマンセミナー」は、大学で学ぶ上に必要な学習スキルを磨くため、全学科で開講しており、学内外の講師に

6月に行われた経営学科の講義では、「情報を集める」をテーマに学内で働く人にインタビューを行った。学生たちは講義で学んだことを生かしながら職員らを取材。聞き取った情報をグループで共有し、資料にまとめてプレゼンテーションを行った。経営学科では今後も「大学生活のゴールを考える」などをテーマに多彩なワークショップや講義が行われる。

就職活動中の4年次生が自らの体験を後輩に伝える「就職活動リアル体験談」が6月29日、森口記念館で開かれた。内々定を得ている5人が登壇し、寄せられた質問に答えた。写真。

就活体験リアルに
就職活動中の4年次生が自らの体験を後輩に伝える「就職活動リアル体験談」が6月29日、森口記念館で開かれた。内々定を得ている5人が登壇し、寄せられた質問に答えた。写真。

1年次生の「力」を養う

石巻専修大学は、学生の大学4年間における学習姿勢に影響を与える初年度教育を重視している。1年次の基本教育科目「フレッシュマンセミナー」は、大学で学ぶ上に必要な学習スキルを磨くため、全学科で開講しており、学内外の講師に

6月に行われた経営学科の講義では、「情報を集める」をテーマに学内で働く人にインタビューを行った。学生たちは講義で学んだことを生かしながら職員らを取材。聞き取った情報をグループで共有し、資料にまとめてプレゼンテーションを行った。経営学科では今後も「大学生活のゴールを考える」などをテーマに多彩なワークショップや講義が行われる。

就職活動中の4年次生が自らの体験を後輩に伝える「就職活動リアル体験談」が6月29日、森口記念館で開かれた。内々定を得ている5人が登壇し、寄せられた質問に答えた。写真。

就活体験リアルに
就職活動中の4年次生が自らの体験を後輩に伝える「就職活動リアル体験談」が6月29日、森口記念館で開かれた。内々定を得ている5人が登壇し、寄せられた質問に答えた。写真。

就活体験リアルに

就職活動中の4年次生が自らの体験を後輩に伝える「就職活動リアル体験談」が6月29日、森口記念館で開かれた。内々定を得ている5人が登壇し、寄せられた質問に答えた。写真。

就職活動中の4年次生が自らの体験を後輩に伝える「就職活動リアル体験談」が6月29日、森口記念館で開かれた。内々定を得ている5人が登壇し、寄せられた質問に答えた。写真。

就職活動中の4年次生が自らの体験を後輩に伝える「就職活動リアル体験談」が6月29日、森口記念館で開かれた。内々定を得ている5人が登壇し、寄せられた質問に答えた。写真。

就職活動中の4年次生が自らの体験を後輩に伝える「就職活動リアル体験談」が6月29日、森口記念館で開かれた。内々定を得ている5人が登壇し、寄せられた質問に答えた。写真。

自動車技術会から特別表彰

石巻専修大学と理工学部の島田了八教授、山本憲一教授が、公益社団法人自動車技術会の創立70周年を記念した特別表彰を受けた。

表彰は同会の発展に功績のあった団体・個人を顕彰するもの。本学は東北の大学で唯一、支部の事務局を担当していたことや、機械工学科の学生が多数会員となり、社会貢献を含む事業に積極的に協力していることなど、長年にわたる活動が評価された。

島田教授は地区担当理事(支部長)や本部理事を、山本教授は事務局局長、支部理事などの要職を歴任。これまでの貢献に対し、盾や賞状が授与された。

島田教授は地区担当理事(支部長)や本部理事を、山本教授は事務局局長、支部理事などの要職を歴任。これまでの貢献に対し、盾や賞状が授与された。

開放講座始まる

「やわらかな生き方」こころの旅」を統一テーマとした「平成29年度」を更新した千葉さんは「早い展開についていき、ベストを1分上回ることであったが、優勝できず悔しい」と振り返った。

9月には全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会が控えている。1位通過を目標に、部員たちは練習に励む。

初回は37人が出席し、丸岡泰経営学部教授が「ソフト・パワーと観光」と題して講演。日本のソフト・パワー(他国を味

方につける力)となる能や歌舞伎、和食、漫画といった文化や地域産業などを地域活性化に生かすことが大切だと論じた。

第2回(7月6日)は根本智行理工学部教授が生物の多様性について、第3回は佐藤正恵人間学部教授がポジティブ心理学をテーマに講演した。

第4回(7月20日)の大津幸一人間学部教授の講義を含め、3回以上受講した参加者に修了証が授与される。